



疲れた体に甘い一粒！ 岡崎産ブドウ

いよいよ夏本番。これから秋にかけてブドウが旬を迎えます。さわやかな香りで甘い果汁がたっぷり。おいしいだけでなく、ブドウの果実に多く含まれるブドウ糖や果糖は疲労回復効果があり、暑い夏のエネルギー補給に最適です。

市内でブドウ栽培が本格的に始まったのは昭和20年代後半。養蚕業が盛んだった市北部や戸崎地区などで、養蚕に代わる生産物として栽培が始まりました。現在53戸のブドウ農家が所属する岡崎市果樹振興会を中心に、巨峰やデラウエアを始め年間約361トを生産されています。

岡崎市果樹振興会の織田会長によると、ブドウ栽培で最も大変な作業は、6月に行われる「粒抜き」。巨峰の場合、一房50粒以上ある粒を30粒程度になるようはさみなどで取り除きます。「手間はかかりますが、品質の良いブドウを作るために何回にも分けて作業を行います」。

こうして一房ひとふさ丹精込めて育てられ、宝石のような輝きを放つ岡崎産ブドウ。会長は、



「岡崎産ブドウは、涼しい地域で育ったブドウに比べて実の色は濃くありませんが、糖度がとても高く、県の品評会でも高評価をいただいています。今年は、7月上旬の雨量が少なく日照時間も長かったため、甘くておいしいブドウが期待できますよ」と太鼓判を押しします。

8月20日(土)・21日(日)には、おかざき農遊館で「ぶどうフェア」を開催します(詳しくは12ページに掲載)。また、東海地方随一の規模を誇る観光農園「駒立ぶどう狩り」は、ブドウ狩りだけでなく川遊びやバーベキューなどを楽しむことができます。夏の観光お勧めスポットです。直売ブドウ園では、多彩な品種のブドウを販売していますので、お気に入りのブドウを探してみたいかがでしょうか。市内のスーパーにも、巨峰を中心に新鮮な岡崎産ブドウが販売されていますので、ぜひお求めください。

今が食べ頃のデラウエアに続き、8月中旬からはスチューベンや巨峰が旬を迎えます。暑い日が続きますが、岡崎産ブドウで元気をチャージして、夏を乗り切りましょう。

農務課 023◆6201

「よくわかま病気の話」

手にしびれはありますか？

しびれこんかん 手根管症候群

手のしびれは、脳卒中や頸椎症(首の骨の病気)などいろいろな病気によって引き起こされます。中でも、しびれの原因として最も多い病気が「手根管症候群」と言われています。

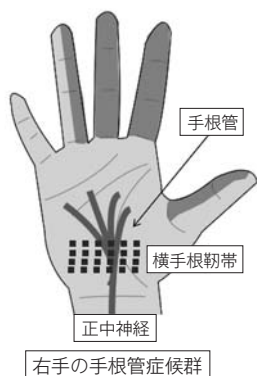
手根管とは、手首にある骨(手根骨)と靭帯(横手根靭帯)に囲まれたトンネルです。その内部には、手の運動と感覚をつかさどる正中神経が走っています。この正中神経が圧迫されて、手にしびれや痛みが起る病気が手根管症候群です。

手根管症候群の原因は不明なことが多いのですが、妊娠中や更年期の女性に比較的多くみられます。また、仕事・スポーツで手首を使い過ぎた場合などでも手根管症候群になることがあります。

初期症状としては、人さし指・中指のしびれが挙げられます。親指や薬指までしびれが広がることもあります。しびれは明け方に強くなり、手を振ると楽になるという特徴があります。病気が進行す

ると、親指の付け根の筋肉がやせてくることもあります。

手根管症候群の簡単な診断法として「ファールテスト」というものがあります。これは、胸の前で手の甲を合わせて1分間程押し付けるものです。このテストで人さし指・中指を中心にしびれがひどくなるようでしたら、手根管症候群の可能性があります。このような症状のあるかたは、早めにお近くの整形外科の先生に相談しましょう。



右手の手根管症候群

岡崎市民病院 整形外科
医師 三竹 辰徳

市民病院を受診する際は「かかりつけ医」の紹介状をお持ちください。